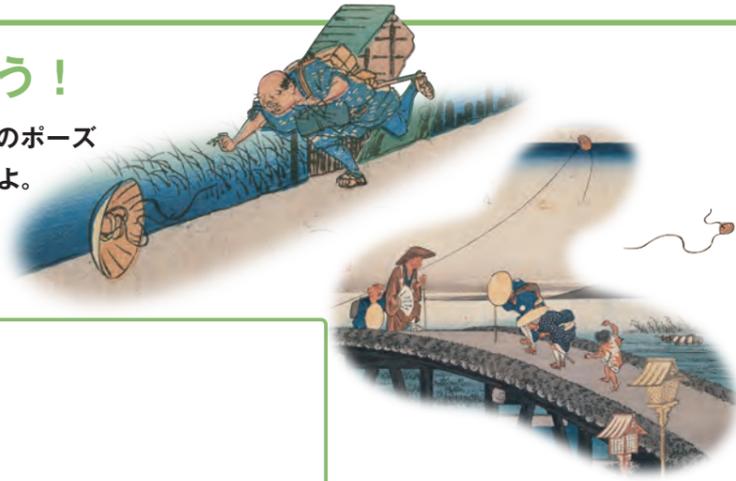


Q2 「風」の表現を見つけよう！

《東海道五拾三次》の作者・歌川広重さんは、人のポーズや物の動きに特徴をつけて「風」を表現しているよ。

「風」を感じるの No. の作品。

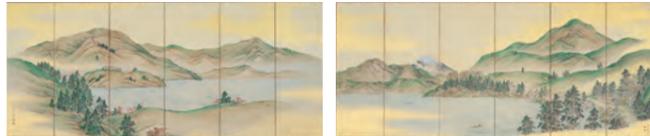
広重さんはどうやって「風」を描いているかな？



図版
歌川広重(初代)《東海道五拾三次》
左:No.45「四日市・三重川」(部分)後期展示
右:No.28「掛川・秋葉山遠望」(部分)前期展示

Q3 ふしぎな風景。季節はいつ？

No.66 野口小籟《箱根真景図》1907(明治40)年



左隻

右隻

大きな画面いっぱいにきれいな風景が広がっているね。作品の右側と左側をよく見くらべてみてごらん。あれれ？ちがう季節が描かれているみたいだよ。

描かれた季節はいつだろう？ 右隻の季節は 。左隻の季節は 。

その理由は？

旅の心得② 真景図

実在する場所を描いた絵。写真がなかったころ、江戸時代の日本の画家が使っていた呼び方だよ。この屏風にも芦ノ湖や箱根駒ヶ岳など現実にある湖や山が見えるよ。

旅の心得③ 屏風

もともとは防風や間仕切り用の折りたたみ式の家具。2つで1組になっていることが多いよ。右側を「右隻」、左側を「左隻」といい、2つあわせて「一双」と呼ぶよ。画家にすてきな絵を描いてもらって、家具としてだけでなく鑑賞する楽しみも備えていたすぐれものなんだ。

Q4 どこから見た景色？

No.84 麻田鷹司《天の橋立》1971(昭和46)年



海の中央に細長い砂地。雪がたくさん積もっているよ。とても高いところからの眺めだね。

この絵はいったいどこから見た景色かな？

画家は、 から見て描いた。

どうしてそう思ったか教えて！

旅の心得④ 名所

美しい景色や和歌・物語に登場する有名な場所は、「名所」と呼ばれてたくさんの画家たちに描かれてきたんだよ。「天の橋立」もその一つ。この展覧会の中で見つけた名所を書き出してみよう。

Q5 まるで映画みたい! 長〜い絵巻。

No.98 横山大観《楚水の巻》(部分) 1910(明治43)年



後期展示

前期展示

横山大観さんが実際に訪れた中国旅行の体験をもとに、アジア最長の川・長江(揚子江)の風景を描いた作品だよ。

何が描かれているかな？書き出してみよう。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

この絵巻に描かれた場所、季節、天候など特徴を教えて！

場所	季節	天候
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

旅の心得⑤ 絵巻

絵巻は横長の画面に絵や文章を入れた巻物形式の作品。右から左へと見ていこう。《楚水の巻》は、ぜんぶ広げるとなんと14mの長さ。でも、くるくる巻くことができるからコンパクトに片付けられるよ。墨だけで描かれているけど、朝から夕方までの時間の流れや、気候の変化が伝わってくるね。場面の移り変わりにも注目してみよう。

Q6 技法に注目!

No.94 横山操《アメリカ五題のうち マンハッタン》1961(昭和36)年



©Matako Yokoyama 2012/JAA1200076

高くて頑丈そうなビルが並んでいるね。

実はこの作品、ある金属を使って描かれているよ。

何の金属だろう？

金属の種類は と 。

展示室には、他にも金属を使って描かれた作品があるよ。探してみよう。

No.

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Q7 はたらく人々の様子

No.102 速水御舟《埃及土人ノ灌漑》1931(昭和6)年



旅の心得⑥ 灌漑

灌漑は人工的に畑に水を引き入れて、土地をうるおすこと。エジプトではナイル川の水をたくさん使えたので、畑には豊富な作物が育ったんだよ。古代文明など長い歴史について考えながらそれぞれの土地を旅行するのも楽しいよね。

水を汲んでいる人物2人は同じようなポーズをしているね。この絵は、ほぼ左右対称に描かれているみたいだ。

似ているところと違うところを、それぞれ書き出してみよう!描かれている物の色や形、数に注目してね。

似ているところ:

違うところ: